

まちづくり市民会議 第9回定例会（解散式）議事録

■日 時	2008年3月27日（金） 午後6時30分～午後8時
■場 所	太田市役所 10階 政策推進会議室
■出席者	福島会長、田部副会長、浦野委員長、西村委員長、宮越副委員長、森尻副委員長、荒井、内田、神谷、境野、高橋、早川、原澤 (委員13名) 小林企画政策課長、田中課長補佐、奥川係長代理、正田主任、小川主任（市5名） ※欠席委員5名 相沢委員長、天笠、栗原、後藤、佐々木

【概要】

1. 会議の目的

- ・第1期まちづくり市民会議の会議が最終日となるため、提言に対する市の考え方を確認する。

2. 会議の内容

（1）提言に対する回答

- ・奥川係長代理が、提言に対する市の考え方を説明した。
- ・内容は、「太田まちづくり市民会議の提言に対する回答」のとおり。

（2）提言書の提出

- ・各委員がまちづくり市民会議に参加した感想を述べた。
- ・主な意見は次のとおりである。
- ・会議に出席していろいろ勉強になった。今後は、提言した内容を進めていただきたい。
- ・当初予想していたよりも立派な提言書を作ることができた。
- ・まちづくり基本条例の見直しに携わって、基本条例の難しさを感じた。
- ・活動が提言書の作成に終始してしまった嫌いがある。
- ・まちづくり市民会議の活動は、こんなものかなとも感じる面もあった。
- ・活動に中途半端な形で関わってしまったような気がする。
- ・軽い気持ちで参加したが、会議を重ねるごとにいろいろな事が分かった。
- ・まちづくりについて、同じ事を考えている人が沢山いた。
- ・市へ提言を行うことで、1つのアクション、市としてのアクションができたと考えられる。
- ・提言を行うことで、市民の生活がますます良くなればと考える。

- ・委員に現役世代が入れば、斬新な意見が出て良いのではないかと感じる。
- ・市長選があるため、今後の提言の取扱いが心配である。
- ・委員として参加することで、市政に対する認識が深まった。
- ・行政と一緒にまちづくりを考えることは、大切なことである。
- ・市がまちづくりを改善する意識がみられることは大切なことである。
- ・「参画と協働」は具体的にどのようなことか、理念はどのように実行していくかなどを話し合えたら良かった。
- ・第3小委員会で審議未了の案件があったため、残念であった。

(3) その他

- ・事務局を代表して小林企画政策課長が労いの挨拶を行った。